

農業共済新聞



公益社団法人
全国農業共済協会

〒102-8411
東京都千代田区一番町19番地
購読 ☎03-3263-6413
編集 ☎03-3263-6727
月4回・水曜日発行
◎全国農業共済協会2018
<http://www.nosai.or.jp/>

ズバリ直言

金丸 弘美

地方創生を支援する「地方創生カレッジ」が国で予算化され、その講座の一つを受け持った。タイトルは「地域資源を生かす 幸せな田舎の作り方」小さな経済の地域力・田舎力」

(制作・地域活性化センター)。
現在、配信中で、登録すれば誰でも無料で受講できる。内容は、各地で実施してきた食のテキスト化とワークショップ、プロモーションを詳細に紹介するものだ。

地域資源をブランドに

テキストとはブランドにした、売り込みたいという農産物の品種や環境、文化、歴史、栽培法、栽培歴、量、栄養価、レシピなどをまとめた冊子のこと。豊岡市「コウノトリ育む米」や高山市「宿儺かぼちゃ」、常陸太田市「常陸秋

ア関係者にも明確に伝えやすく、直売所でも売りやすい。

ワークショップは売りたい農産物を中心に、地域にある果実、畜産物、野菜などを組み合わせ、農家や栄養士、商工会などに携わる人が参加し、料理家を中心に20〜30種類をレシピ化する。

そば」、能代市「ねぎ」、長門市「魚類」などで実施してきた。作成には農業技術センターや大学などの協力をあおぐ。テキストを作成すると販売がしやすい。市場やスーパーなどのバイヤーやメディア合プロデューサー)が増えるし、食べ方を提案することで訴求力が高まる。ぜひ試してみたい。売り上げに大きく貢献することは間違いない。(食環境ジャーナリスト、食総合プロデューサー)